

## 岡山県立高松農業高等学校が GAP 取得チャレンジシステム の取組み農場に認定

(一社) 岡山県畜産協会

岡山市北区の岡山県立高松農業高等学校（校長 山根康史）が、令和元年 9 月、酪農で GAP 取得チャレンジシステムの取組み農場に認定されました。中四国の農業高校で初の認定事例となります。

GAP 取得チャレンジシステムは、飼養衛生管理基準やアニマルウェルフェアなど畜産 GAP とほぼ同等の要求事項について、農場内で自己点検を行い、その内容を中央畜産会が確認する仕組みで、東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準を満たすこととなります。

高松農高では、かねてより農場 HACCP に基づく衛生管理に取り組んでおり、生徒の学習を深めるため、GAP 取得チャレンジシステムへの取り組みを始めました。「アニマルウェルフェアの考え方に対応した乳用牛の飼養管理指針に関するチェックリスト」の確認を生徒自身に行わせるなど、教育と一体になって進めてこられました。

自己点検を行うことで、安全な畜産物生産に求められるものは何かを意識し、第三者の審査によって農場を見直すきっかけになるのではないのでしょうか。